平成 29 年３月　道中研修部作成
令和　７年３月　一部修正

文書表記等について

本会研究大会「開催要綱」「研究紀要」等の文書表記について、ある程度の基準が必要であると考え、次のように提示しますので参考として御活用ください。

なお、今後も改訂を重ねながら精査していく必要があり、全日中の基準に合わせ最小限の内容としました。次年度以降も、改訂を重ねていきます。

１　文書表記について

(1)　下記の全日中の基準をもとにする。

【全日中編集部で気を付けている表記（全日中編集部）より抜粋・編集】

○平成二十九年十月二十二日（年度、年月日の表記には十を入れる）
○週二九コマ、第五九回（右記以外「十」は入れない）
○四、五三六人（「千」「百」「十」は入れない）
○七八億一、二〇〇万（七八一二〇〇〇〇〇〇では読みにくいので、「億」「万」を入れて読みやすく表記）
○五〇分授業（「十」ではなく、「〇」と表記）
○人数には「人」を用いる（二〇人　一三五人）
○十数人・数十人（読みやすく表記）
○三〇〇人を超える（「三百」とはしない）
○一八学級（「十」ではなく「一」と表記）
○もつ……物を「持つ」こと以外はひらがな表記
○一つ目、二つ目…は差別用語となるので他の言葉に替える
○障害のある・障がいのある……都道府県によって表記が異なるので、執筆者が作成したとおりで修正しない。
《※注》道中校長会会員は「障がい」とする。ただし、来賓等会員外の方が作成した文書を掲載する場合は、執筆者作成のとおりとする。
○単位は記号を用いる……キロメートル→ｋｍ　トン→ｔ
ヘクタール→ｈａ
○小数点は真ん中に……七三・八％　一二・三ｋｇ
○学校名の記載は、県庁所在地と政令指定都市は都道府県名を省く
郡名は除く
○全日中教育ビジョン提言10…提言の数字は、縦書きでも算用数字で表記
○難解文字の読みは、（　）内にひらがなで表記せず、ルビをふる
徳川家康（とくがわいえやす）　×徳川家康（とくがわいえやす）

	○表　記	備考（用例、×表記　他）		○表　記	備考（用例、×表記　他）
あ	挨拶	（漢字表記）		～していただく	（補助動詞、ひらがな表記）
	アイディア	×アイデア		いろいろ	×色々
	挙げ句	～した挙げ句		今更	
	あげる△	成果をあげる（ひらがな表記、道小：上げる、揚げる）		うれしい	×嬉しい
		例を挙げる（漢字表記）		おかげ	×お陰
	挙げる	開会にあたり		収める	成果を収める
	あたり	～するにあたり（ひらがな表記）	か	抱える	（漢字表記）
	当たり前			係る	
	あふれる	×溢れる		関わる	×かかわる、係わる
	味わう	×味合う		掛け替え	
	味わわせる	×味合わせる		且つ△	（漢字表記、道小：かつ）
	併せて	（副詞）併せてお願いする（接続詞）		車いす	×車椅子
	あわせて			研さん	×研鑽
	合わせる	問い合わせる（道小）		御理解・御支援　等	（御は漢字表記）
	いかんともし難い	×如何ともし難い（漢字表記）		～すること	×～する事（「こと」はひらがな表記）
	致し方ない			子供たち△	（漢字表記、たちはひらがな表記）（道小：子ども、子どもたち）
	いたします△	×致します（道小：致す）		この度	×このたび

	○表　記	備考（用例、×表記　他）		○表　記	備考（用例、×表記　他）
さ	先ほど	（先は漢字表記）		根ざす	×根差す
	様々	（漢字表記）			
	更に、更なる	（副詞、漢字表記）	は	働き掛け	
	さらに、	（接続詞、ひらがな表記）		話し相手、話し合う	
	仕組み			話し方、話し手	
	十分	×充分		話合い△、話好き	（道小：話合い&話し合い）
	優れた			一人一人	×一人ひとり
	素晴らしい			～してほしい	×欲しい
	全て	（漢字表記）		褒める	×ほめる
	スマートフォン	×スマートホン			
	セキュリティ	×セキュリティー	ま	誠に	
				まね	×真似
た	たくさん	（ひらがな表記）		見いだす	×見出す
	たくましい	×逞しい		見付ける	×みつける・見つける
	ちょうど	×丁度		皆さん	（皆は漢字表記）
	つづる	×綴る		申し訳なく	×申し訳けなく
	つなぐ、つながる	（ひらがな表記）		持ち出し、持ち込む	（物を持つとき）
	常に			もつ	（物を持つこと以外はひらがな表記）
	つらい	×辛い			
	提示	×呈示	や	優しい	×やさしい
	出来上がる			善い行い	
	できる	×出来る		より良い	（良いは漢字表記）
	手だて	×手立て		よりどころ	×拠り所
	～のとおり	（とおりはひらがな表記）			
	～を通して	（通しては漢字表記）	ら		
	とき	そのとき、			
		～したとき　×時	わ	分かる	×わかる
	～とともに	（ひらがな表記）		枠組み	
	とどまる・とどめる	×止まる・留める		私ども	×私共
	捉える△	×とらえる（道小：とらえる）			
	とりこ	×虜		Chromebook	（C のみ大文字で半角）
	取組	（名詞、漢字表記）		GIGA スクール	（大文字で半角+全角カタカナ）
	取り組む	（動詞、送り仮名を入れる）		LINE	（大文字で半角）
な				VUCA	（大文字）
	ねらい	×狙い		Society5.0	（S のみ大文字で半角）
	のっとる	×則る→(換)基づく、従う、よる、即する		Well-being	（W のみ大文字で半角）
				Zoom	オンライン会議と表記

注）上記表中の△印の部分は、道小発行の用字用語例と異なる部分です。

(2)　文科省発行文書の表記をもとにする。

○表　記	備考（用例、×表記　他）
アクティブ・ラーニング	「・」を入れる
カリキュラム・マネジメント	「・」を入れる
コミュニティ・スクール	「・」を入れる　×コミュニティー・スクール
特別の教科　道徳	×特別な教科　道徳
道徳、道徳教育、道徳科	
総合的な学習の時間	×総合の時間

２　項目番号について（■…スペース、▮…半角スペース）

※縦書きの場合、原則、５文字までは全角、６文字以上は半角で表記する。

Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ　…
▮1　2　3　…
▮▮(1)　(2)　(3)　…
▮▮▮①　②　③　…
▮▮▮▮ア　イ　ウ　…
▮▮▮▮▮・

［関連して］
・算用数字を横書きする際は、一桁の場合は全角で表記。
　二桁以上は半角で、三桁ごとに「，（ｶﾝﾏ）」を入れる。
（例：１、９、10、　999、　1,000、　1,234,567,890）

PDCA
Wi-Fi
SDGs
PTA
GIGAスクール構想
COVID-19

Classroom
Chromebook
Society5.0
LINE（全角横書き）